

喜田貞吉 きだけ じけい 國史學者、文學博士。明治四年五月二十四日河波國
生れ、昭和十四年七月四日歿（一八七一—一九二九）。號齊東野人。帝國大學
文科大學國史學科卒。日本歴史地理研究會を組織し、法隆寺再建説を
主張した。國定教科書の編纂に從事し、明治四十四年南北朝正閏論問
題で退く。大正八年雜誌『民族と歴史』を創刊、翌年京都帝大教授と
なる。部落問題にも取り組んだ。

著書に『大阪文化史論』（他三名合著・市立大阪市民博物館編、大正
十二年十一月二十日實文館）、還暦『六十年之回顧』（昭和八年四月
二十五日自刊）、『杏齋樋口先生傳』（昭和八年十一月十五日徳島・
敬義會編刊）、京教界批判『素人の疑問』（齊東野人名、昭和十年一
月十八日立命館出版部）、『帝都』（昭和十四年八月二十五日日本學
術普及會）、『藤原京』（昭和十七年八月二十日奈良・鶴城郷舎出版
部）、『日向國史—古代史』（昭和十八年六月二十日東洋堂）等。主
に『喜田博士略歴及び主要著述目錄』（昭和七年四月喜田文學博士還
暦紀念事業會）がある。